

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名【新】私立学校エネルギーコスト削減推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 電話番号：058-272-1111(内4976)

私学助成係 E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 補正要求額 130,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 予算額	130,000	0	0	0	0	0	0	0	130,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- エネルギー価格高騰による私立学校の長期的な運営費負担を軽減するとともに、2050年までに県内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会ぎふ」を実現するため、エネルギーコストを削減するための設備の更新等を支援する。

(2) 事業内容

<対象校>

幼稚園、小・中・高等学校、専修学校、各種学校 (外国人学校)

<対象設備>

空調・換気設備、照明設備、冷蔵・冷凍設備、恒温設備、熱電供給設備、窓

※省エネ設備であり、省エネ性能に関する基準を満たすもの

<補助額>

1校 (園) 当たり下限30万円、上限500万円

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 3 / 4 以内

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当予定

(4) 類似事業の有無

私立学校施設整備費補助金（文部科学省）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	130,000	私立学校エネルギーコスト削減推進補助金
合計	130,000	

決定額の考え方

既存の補助金に同様のメニューが存在すること、入院や入所等により24時間対応が必要となる施設へのエネルギーコスト削減推進補助を優先することから、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念に基づく特色ある教育活動を行っており、本県の学校教育において重要な役割を果たしていることから、私立学校が、特色と魅力のある学校づくりに向けて、児童生徒のニーズに応えられるよう支援していく。

(2) 国・他県の状況

長野県で同様の事業を実施中

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校助成事務は県の事務であり妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私立学校エネルギーコスト削減推進事業費補助金
補助事業者 (団体)	私立学校設置学校法人 (理由) 私立学校の運営者
補助事業の概要	私立学校の運営費負担の軽減 (内容) 設備の更新等の3/4を補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) 設備の更新等の3/4を補助 (理由) 燃料費高騰の影響を軽減する設備導入を 県と事業者で負担するため
補助効果	学校法人の負担軽減による保護者への負担軽減回避
終期の設定	終期 令和4年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①設定困難						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の周知
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 燃料費高騰等の状況により、事業継続の可否を判断
